

日本大学では、FD 活動に学生の声を反映させながら教育力の向上を目指すべく、平成 25 年度より、16 学部 95 学科、短期大学部 4 学科、通信教育部を対象に学生・教員・職員が一堂に会して学生 FD や本学の教育について理解を深め、気軽な雰囲気の中で語り合う「日本大学 学生 FD CHAmmit (ちゃみっと)」を開催しております。全学規模のイベントとなっており、例年、各学部等から 200 名以上の参加者を得て開催しております。令和 2 年度及び令和 3 年度においては、コロナ禍の影響により、オンライン (Zoom) 開催いたしました。

第 11 回目となる令和 5 年度においては、4 年ぶりに完全対面方式で実施しました。「あなたにとって大学とは何ですか」という昨年度のテーマを踏襲した上で、ChatGPT などの新しい技術が登場したアフターコロナの今だからこそ、大学で学ぶ意義等を話し合い、自身が思い描いた大学生活の理想と現実のギャップについて、意見を出し合いました。それらを踏まえ、最終的に「理想の学部にするための提案」「日大教育の未来のビジョン」を提案書として作成しました。

学生からの提案を受けて、効果的な教育改善の実現に繋がるよう、商学部において学生との協議の場を設け、学生・教員・職員の三者で協議した上で「学生への回答書」を作成いたしましたので、御覧いただきますようお願いいたします。

今後も商学部では、教育の質や改善について検討を重ね、より良い教育環境づくりに努めていきます。

# 令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

## 【商学部】

### 1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和5年12月20日	CHAmmit参加学生2名, その他学生4名, FD委員長1名, 教務課職員2名の計9名にて対面にて, 学部提案書, 授業に対する考え方, 学び方等に関して1時間30分程度の意見交換を行いました。

### 2 商学部から学生へのメッセージ

商学部では, 令和6年度からは一部を除いて全面的に面接(対面)授業に戻ります。今回, CHAmmit参加学生のみならず, 幅広い学生を交えてしゃべり場を開催し, 提案書の作成をしました。今回のしゃべり場では, 提案項目のうち, 特に図書館の利用について学生のみなさんの利用目的や要望をより詳しく聞かせてもらいました。

さて, 学生のみなさんは馴染みがないかもしれませんが, 教員はFD活動を通じてよりよい授業を目指して活動しています。授業評価アンケートは全科目で実施していますので, よかった点, 改善してほしいなどはぜひお寄せください。それ以外でも, 施設や設備などでお困りのことがあれば, 教務課までお声掛けください。

### 3 学部提案書の対応について

#### 「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
授業内容に合った受講方法を学生・教員双方が選べるようなシステムを希望します。成績基準, 成績方法について直接聞ける機会をオフィスアワー以外にも増やすことを希望します。	○			シラバスに具体的な内容が書かれているか組織的なチェックを念入りに行い, 学生が受講方法や内容, 成績評価等がイメージしやすいよう改善しています。また, 出講管理システムによりオフィスアワー以外であっても在校しているか学生が確認できるようになっています。
図書館を自習スペース以外にも学生にもっと利用してもらうために, 本の種類を増やすなどの設備の拡充を希望します。			○	学生との協議において, 利用マニュアルがあっても読む人が少なく, 活用されていないことがわかりました。そのため, より利用者目線に寄せたパンフレットの作成などを検討します。 また, 図書館階には無線LAN設備がないため, 今後の設備強化を検討します。 ほか, 図書館内にカフェ併設などの意見もありましたので, より利用しやすくなる環境を目指し, 今後検討したいと思います。
教職員に質問ができる時間が少ないので, オフィスアワー以外にも時間を増やしイベントなど対話する機会の増加を希望します。		○		Google ClassroomやNUeなど, オンライン上で教員とコミュニケーションがとれるLMSを用いた授業については, 授業時間外でも質問が出来る場合がありますので, 積極的に御活用ください。 また, 簡単な質問には回答をできるAIチャットボットの導入などを検討します。
学生ポータル機能の改善及び発展, 例えばチャット機能, 固定機能, アプリ化等の拡充を希望します。			○	学生ポータルは設計から年月が経っており, 学部としても改善点を挙げ検討中です(機能の不十分感は否めません)。システム開発には巨額の費用が必要であり, 一朝一夕にはできないことも事実です。みなさんからの幅広い意見を聴取しながら, 中長期的に使い勝手の良いシステム構築を検討します。 また, 簡単な質問には回答をできるAIチャットボットの導入などを検討します。

※令和6年4月1日現在の対応内容となっており, 今後の状況によって変更する可能性があります。